

すかがわSDGsクイズ（小学5・6年生向け）

Q1 ゴール12「つくる責任 つかう責任」

食品ロスを減らすため、「もったいない！食べ残しゼロ推進運動」が福島県内で行われています。須賀川市内の飲食店や宿泊施設、スーパーマーケットも参加していますが、飲食店では具体的にどのような取り組みをしているのでしょうか。

- A：お客さんの希望に合わせて量を調整する
- B：必ず大盛りを出す
- C：残したら追加料金をとる

12 つくる責任
つかう責任



Q2 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」

西川中央公園は、新たな防災施設として令和6年度に整備されました。台風や大雨のときに水をためる広場がありますが、そこにためられる水の量は、25mプール何杯分でしょうか？

- A：10杯分 B：42杯分 C：100杯分

11 住み続けられる
まちづくりを



Q3 ゴール13「気候変動に具体的な対策を」

須賀川市の「市内循環バス」は、須賀川駅から出発して町の病院やお店、公共施設などを回る便利なバスです。みんながこのバスを使うと、車の利用が減って地球にやさしくなります。どうして地球にやさしいのでしょうか？

- A：車の数が減り、二酸化炭素が少なくなるから
- B：バスの運賃で道路をつくっているから
- C：バスが農産物を運ぶから

13 気候変動に
具体的な対策を



Q4 ゴール15「陸の豊かさを守ろう」

令和7年5月、翠ヶ丘公園の荒池で「池の水ほとんど抜く大作戦」が行われました。ヘラブナ、コイのほか、外来生物のブルーギルやブラックバス、ウシガエルのオタマジャクシが見つかりました。さて、池の水を抜いたあとに大切なことは何でしょうか？

- A：池をそのまま放っておくこと
- B：池にもっと外来生物を入れること
- C：ゴミや外来生物を取りのぞき、池をきれいにすること

15 陸の豊かさ
を守ろう



Q5 ゴール3「すべての人に健康と福祉を」

須賀川市では、高齢者の介護予防や認知症予防を目的として、オリジナルの体操をつくりました。みんなが元気に長生きできるように作られた体操です。座ったままでもできるこの体操の名前は何でしょうか？

- A：スーパー元気体操
- B：ウルトラ長寿体操
- C：ハッピー健康体操

3 すべての人に
健康と福祉を



Q6 ゴール2「飢餓をゼロに」

須賀川市では、学校給食に地元の野菜やお米を使っています。これはどんな良いことにつながるのでしょうか？

- A：地元の農家を応援できる
- B：給食を食べると、背が2mになる
- C：給食のメニューが毎日同じになる

2 飢餓を
ゼロに

